

第47回放送番組審議会 議事録

日時 2018年5月21(月)

場所 株式会社ケーブルネット鈴鹿 新館 会議室

審議委員(出席者)

会長 高木純一氏

副会長 中道公子氏

委員 南部美智代氏・加藤二三子氏・渥美和生氏・潮崎誠氏・館隆克氏

事業者側(出席者)

家田孝・前田哲也・大野宏幸・伊藤秀明・美馬孝宣・古川佳苗(議事録)

■報告事項

1. 株式会社ケーブルネット鈴鹿の近況

- ・テレビ、インターネット、電話、3サービス共に加入者は順調に推移
- ・無料アプリ「CNSコネクト」について
- ・すずフェス、大四日市祭り、ニュース、台風情報などLIVE配信
- ・情報カメラは、安楽川、サーキット道路(2カ所)に新たに設置
- ・公式SNSについては、フォロワー数も順調に増加している
- ・テレビの4K対応について、2018年開始の本放送に向け、準備を進めて参ります

2. 前回の審議会の要望事項に対する回答

◇ケーブルNEWS 8月7日放送号(台風情報あり)

- ・要望のありました西富田町和泉橋付近の安楽川に情報カメラを設置した他、サーキット道路に2カ所、国道23号一ノ宮交差点、県道41号野町交差点に新たに設置しました。
- ・台風情報に関しては、情報カメラを増設し、さらに行政から直接入力していただいているL字放送を活用して発信していきます。今年度は、4月より11chを情報カメラチャンネルと位置づけ、朝から夜までカメラ映像を放送しています。台風などの災害時は24時間放送に切り替えも行います。
- ・ニュースの内容において「子ども」は、大切な柱の1つとしています。子供たちが一生懸命取り組んでいる姿やがんばっている姿を保護者の方や地域の方に届けることができるようにこれからも取材させていただきたいと思っております。

◇刻 ～三重 北勢絵巻～ 8月放送

- ・BGMに関して、制作者に改めて題材のイメージとあうような選曲を行うように指示しました。番組時間内ですべての情報を入れきれない部分もございますが、内容に関して視聴者が消化不良とならないように必要な情報は入れるように指示しました。
- ・今後も、鈴鹿の宝を後世に伝承していけるように番組で取り上げていきたいと思っております。

◇レーシングスピリット 7・8月放送（モリワキレーシング）

- ・民放のレース番組とは違い、地域で活動するモータースポーツ関係者を取り上げています。また、その時々旬な情報も織り交ぜ「鈴鹿＝モータースポーツの町」と市民が感じてもらうように、あえて身近な関係者をご紹介します。今後もこのコンセプトは大切に、モータースポーツに詳しい人も見ごたえのあるように、内容の充実を図っていきたいと考えます。

3. 2017年度下半期 放送番組実績報告

【特別番組】

10月

- ・関ヶ原戦跡踏破隊（4K制作：45分）
- ・上野天神祭生中継（伊賀上野ケーブル制作：120分）

11月

- ・放送セミナー 在野の文士 清水信 前編 ～その風貌と軌跡～（30分）
- ・四日市祭り～地域を結ぶもの～（4K制作：30分）
- ・ヴィアティン三重ホーム戦生中継（CTY-FMとの同時放送：120分）

12月

- ・四日市の第九2017（150分）
- ・三重県高校駅伝大会ダイジェスト（松阪ケーブル制作：30分）
- ・スーパーキッズダンスコンテスト 三重大会（30分）

1月

- ・2018年新春知事対談（三重県協議会制作：30分）
- ・ニューイヤーコンサート2018（150分）
- ・全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち（四日市市制作：240分）

2月

- ・放送セミナー 在野の文士 清水信 後編 ～その時代と人々～（30分）
- ・生中継！平成30年国府宮はだか祭（稲沢ケーブル制作：150分）

3月

- ・四日市市制120周年記念事業ケーブルNEWS特別企画
ええやん！四日市～市民が主役～（210分）

■審議

◇視聴番組

- ①ケーブルNEWS 2月23日放送（生中継 他）
- ②子育てチャンネル おおきくな〜れ 1月放送
- ③放送セミナー 在野の文士 清水信 前編・後編

◇ご意見・ご感想

ケーブルNEWS 2月23日放送（生中継 他）

- ・冒頭で、四日市の夜景が素晴らしいという話題をしているのなら、去年の映像でもいいので見せて欲しかったです。
- ・頑張っている子供たちの姿をとらえてもらっていてうれしかった。特に、四日市中央工業の生徒の皆さんの頑張りが伝えられていて良かった。
- ・白子高校のニュースは“音楽の街 鈴鹿”ということで市の取り組みを発信できる素晴らしい内容だったと思います。
- ・鈴鹿の森庭園の話題について、おおむね良かったのですがライトアップだけでなく、昼間の様子も欲しかったなと思いました。
- ・ケーブルNewsのラインナップはすべてのニュースを表示させたほうがよかったのではないのでしょうか。
- ・枝垂れ梅で有名な梅園を紹介しているのだから、去年の映像でも良いので枝垂れ梅や昼の様子が欲しかった。そういう情報が不足と感じた。

子育てチャンネル おおきくな〜れ 1月放送

- ・発熱の判断基準グループ分けが、年齢で分けているのか、病院に行くか否かで分けているのか分かりずらく感じた。
- ・子育てで孤立しがちなママさんたちの応援番組として、番組の存在がありがたいと思いました。
- ・子育て中の世代が気軽に交流できる場を紹介していただき、嬉しく思います。
- ・リポーターの「ルールは大事」のようなさりげないセリフが聞いている側、親御さんに対しては響くと思います。保護者が注意しても子供は聞き入れないことがあるので、ああいう形で伝えてもらえるのは非常に有効なのかなと思います。
- ・子供の発熱への対処法について、1歳以上、4か月以上、3ヶ月未満と分けていて、3ヶ月がどこの分類にも入っていなかった。

放送セミナー 在野の文士 清水信 前編・後編

- ・中々知られていない方を、じっくりと調べて説明されており、文化的な番組として良かったと思います。
- ・清水先生に連なる、浅野弥衛氏、衣斐弘行氏という鈴鹿の文化を牽引してきた方々の業績がこの

映像で活かされるのではないかと感じました。

- ・視聴ターゲットを考える上で、中学生では少し難しいと感じる表現があり、高校生以上が対象なのかなと思いました。表現の難しさについては、番組の格調高さを大切にすると仕方がないのかなとも思っています。
- ・視聴ターゲット層はどのあたりを狙っていたのかが気になりました。鈴鹿の偉人を紹介するのであればひょっとするともっと低い年齢向けにしてもらってもよかったのではないのでしょうか。
- ・番組の長さは適正だったのでしょうか。本当に興味のある方であれば面白く視聴できたと思いますが、一般に広く訴えるのであればもっと短い番組でもよかったのかなと思います。
- ・すべての人に気に入ってもらうことは無理なので、格調高く行くのであれば芯を通してCNSらしい番組を作って欲しいと思います。
- ・構成として、賞を取るまでと賞を取った後というように、時系列で分けた方が良かったのではないのでしょうか。
- ・審議会があったから全後編を観たが、そうでなかったら見なかっただろうと思うほど、テレビの良さを活かしきれていないと感じた。途中から目を逸らしたが、ラジオのように音声だけでも問題ないなと思いました。
- ・テレビの良さは映像なのだから、写真や活字の多用ではなく、動画で躍動感や工夫のある演出をしてほしい。映像を軽んじているように感じられました。

以上